

町政を問う!!

11 議員が質問・提案を

人権教育

これからの取り組みは

今後も一層進める



奥本 哲也 議員

問 黒潮町の人権教育はこのままで良いのか。

答 坂本教育長

全国的にいじめ、児童虐待が多く発生している。子ども達を取り巻く環境が厳しくなり、家庭の教育力の低下も指摘されている。基本となるのは人権教育だと思っている。そしてこれからは保護者や、地域ぐるみの人権教育が大切になって来ると思う。人権教育の取り組みを今後も一層進めて行く。

問 保護者や地域、企業研修など、現在の取り組みでいいのか。

答 藤本住民課長

当町では、人権施策推進基本方針を定め、家庭、地域、職場など、あらゆる場所でも人権教育、啓発に取り組んでいる。

黒潮町人権教育推進講座もその取り組みの一つで、人権週間での啓発講演会や泊まりあい人権研修会の実施にも取り組んでいる。

これからは、既存の会議に訪問して、届ける人権啓発事業も必要と考える。地域の協力をいただきながら進めていく。

問 高等学校の人権教育に町は積極的に関われないか。

答 坂本教育長

高等学校における人権教育は非常に大事だと思っている。所管が県教委であり、直接関わっていくことは難しい。特に課題なのは同和教育だと思う。市町村、学校単位での温度差が原因でもあると思う。教育委員会も年1回、高等学校訪問を実施し意見交換を行っている。その場でも是非要請していきたい。

問 まち・ひと・しごと総合戦略の中で、人権教育に関する取り組みが必要と思うが。

答 藤本住民課長

人材育成、確保、将来を担う人づくりが掲げられているが、人権教育をはじめ、教育に関する施策は挙げられていない。総合戦略に掲載しなくても人権教育には、取り組んでいく。

子育て支援

予防接種の

無料化は

検討の必要あり

問 子どもにインフルエンザ予防接種無料化はできないか。

答 宮川健康福祉課長

現在、高齢者には一部、助成をしているが、子どもについては基本的には自己責任で受ける任意接種となっている。また、副反応のリスクがあることから無料化にすることは健康増進に寄与すると思いが、積極的な勧奨は行なえない。他の市町村の取り組み状況を参考にしながら検討する。

問 予防接種1回、千円の補助はできないか。

答 大西町長

子どもの健康対策でやるのか、子育て支援でやるのか財政面も含め、平成28年度の宿題として検討する。